

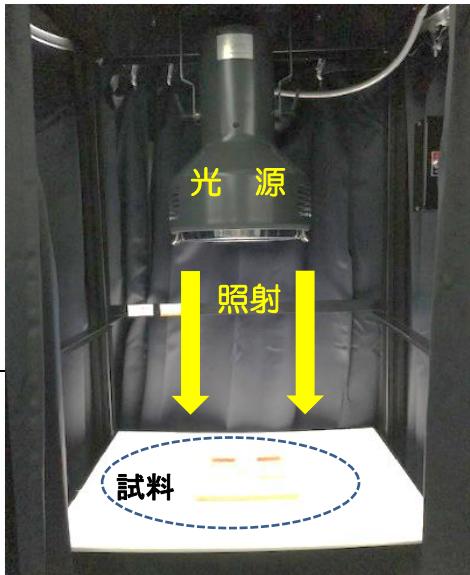
暑さ対策機能で 繊維・ファッショントリニティを通じた日常生活への貢献 一般衣料 にも広がる 遮熱性試験 をご紹介します

暑さ対策として、業界に求められる繊維の機能性

日常生活の様々な場面で暑さ対策が求められている中、繊維・ファッショントリニティ業界が人々の快適な生活のために取り組んでいることの一つが、本紙でご紹介する【遮熱性】機能を持つ製品の提供です。従来、スポーツ用衣類やカーテンなどのインテリア製品が主流でありましたが、ここ数年、一般衣料への応用も進んでいます。

【JIS L 1951 生地の遮熱性試験方法】について

「遮熱性」とは、芯鞘などの特殊構造繊維あるいは、繊維の形状、組織、後加工などによって日射を遮ることにより温度上昇を抑制する機能です。JIS L 1951 では、この遮熱性に関する評価試験が制定されています。

試験方法	試験台から光源までの距離を 500 mm に設定し、光源は $800 \pm 100 \text{W/m}^2$ に調整する。 試験台にスペーサと黒色の熱線受光体を置き、3ヶ所に試験片を置き、1か所は置かずブランクとし、試験片ホルダを4ヶ所に設置する。 光の照射前と照射を始めて 30 分後に熱線受光体裏面の温度をサーモグラフィで測定する。 さらに場所と試験片を変え、残り 3 か所を測定し、その平均値を求める。																	
試験結果	遮熱率 $S(\%) = \frac{(\Delta T_b - \Delta T_s)}{\Delta T_b} \times 100$ ΔT_b : ブランクの平均上昇温度 ΔT_s : 試験片の平均上昇温度 遮熱率が高いほど遮熱効果が高い																	
区分記号	<table border="1"><tr><td>遮熱率 (%)</td><td>65 以上</td><td>55 以上 65 未満</td><td>45 以上 55 未満</td><td>35 以上 45 未満</td><td>25 以上 35 未満</td><td>15 以上 25 未満</td><td>15 未満</td></tr><tr><td>区分記号</td><td>S65+</td><td>S55</td><td>S45</td><td>S35</td><td>S25</td><td>S15</td><td>S15-</td></tr></table>	遮熱率 (%)	65 以上	55 以上 65 未満	45 以上 55 未満	35 以上 45 未満	25 以上 35 未満	15 以上 25 未満	15 未満	区分記号	S65+	S55	S45	S35	S25	S15	S15-	
遮熱率 (%)	65 以上	55 以上 65 未満	45 以上 55 未満	35 以上 45 未満	25 以上 35 未満	15 以上 25 未満	15 未満											
区分記号	S65+	S55	S45	S35	S25	S15	S15-											
試験布	試験ご依頼の際には 90mm × 90mm を 4 枚ご用意ください。																	

本件に関するお問い合わせ先 ~ ぜひお気軽にご連絡ください ~

東京事業所 蔵前ラボ 〒111-0051 東京都台東区蔵前 2-16-11 5F Tel: 03-5809-1360

Nissenken WEB > ニッセンケン拠点情報は [こちら](#) からどうぞ

